



## “海の環境”をテーマにどんな調査をしたの?

死んだクジラのお腹からプラスチックごみが大量に出てきたというニュースを聞いたことと、好きな海苔の漁獲量が減っているということから、“海の環境”について調べてみることにしました。

鳥羽の漁師さんからは、最近の漁獲量について「今年は(2019年)、海水温が高いので魚が獲れない」という話を聞きました。

海岸を調査するなかで、たくさんのごみを見つけました。一番多いと思ったごみは、プラスチック系の包装や容器です。



◆鳥羽市の海岸では、たくさんの海藻が流れ着いていて、ビニールひもや発泡スチロールの破片がそれらに絡みついているのを見ました。



また、近海(四日市、鈴鹿、鳥羽、志摩、和歌山県)で獲れた魚の内臓の中に海洋プラスチックがあるのか、調べてみました。実際に調べてみるとあまり出てこなかったので、少し安心しました。

Q みんなに一番伝えたいことは?

エコ活動を通して、海が大変な事態になつていることが分かりました。海にはたくさんのごみがあつて小さな海洋プラスチックごみが散らばっていました。魚たちはそのごみを食べてしまつたことがあります。このことが漁獲量が減つてきている原因ではないかと思いました。

もしこのまま何もしないと、将来、魚がいなくなつてしまふかも知れないので、海づくりを広めて海を守つていきました。



海にアマモを増やして生き物が棲みやすい豊かな海にしよう!

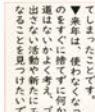
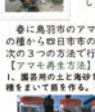
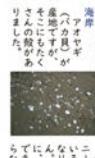


海岸の清掃活動に参加して、砂浜のごみを拾いました。

鳥羽の漁師さんにインタビューしたよ!



2020(令和2年)1月9日



海から見つかったマイクロ海洋プラスチック

なひがんぱる隊 想新聞

</div